

幸せを探しているあなたに

繰り返す悪行、 抜け出す道があります

映画
「執行者」

死刑執行
に関する
韓国映画



死刑宣告 10月16日インターネット記事に死刑宣告の記事がのせられました。「同居していた女性と養女、その女性のめいなど3人を暴行した後、続けて殺し、娘にまで暴行した40代の男に1審の公判で異例の死刑が宣告された...

犯人のイは、5月5日チョルナムド・ヨンナム郡の自分の家で、同居していた兄の娘Aさん(16)を暴行したあと、手と足をくくって旅行用のカバンに入れたまま乗用車トランクにのせて通って、窒息死させた。1週間後の5月12日頃、イは、自分の家で養女(19)を暴行した後、首を絞めて殺害し、その日の夜、同居していた女性(41)まで殺害した。次の日の明け方には、実の娘(22)と同居していた兄のもう一人の娘(18)まで凶器で威嚇して暴行した。イは、この事件に先立ち2度も10代少女を暴行した疑惑などで17年6ヶ月の刑を宣告されて服役していたが、仮釈放で解放されて4年にならないうちに、また再び犯行を行った」と明らかにしました。また10月15日には、成績が悪いと叱る父を野球のバットで殴って殺し、死体を4ヶ月間、家に放置して捕まった大学生のキムの非人間的行為の事件のニュースも私たちの心を痛めます。犯罪の終わりはどこでしょうか。そして、はたして死刑を執行すれば終わるのでしょうか。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです」(ローマ6:23)

繰り返す犯罪問題、どのように解決することができるのでしょうか。3つの問題が解決されなければ道はないと聖書は語っています。だれも、どこでも教えない人間のかくされた霊的問題、そして、生年月日による運勢、死の原理に縛られてしまった運命の問題、人々が全く知らずにいるサタン(悪魔)の力と働きを打ち砕かなければ、解決する道はありません。聖書

は、確かに人間は科学でも、哲学でも説明できない霊的な存在であることを語っています。人間は必ず神様に会うように創造されました。ところで、人間が神様を離れた以後に訪ねてきた問題、サタンの手に掌握されて、苦痛を受け始めた問題が、まさに霊的問題であり原罪です。私がしたくなくても、繰り返して訪ねてくる問題が霊的問題です。その後に引続き精神問題、肉の問題、家庭問題、来世問題、次世代問題が付いてくるようになります。このようにさせた張本人がまさにサタン(Satan)という霊的存在です。サタンという言葉は、敵対する者という意味で、サタンのギリシヤ語である悪魔は、仲を裂く者という意味です。サタン(悪魔)は、神様に敵対して天から追い出された存在で、人々が神様に敵対するようにさせ、人々の間を仲違いさせて、人間関係を破壊させます。サタンの手下のことを悪霊、あるいは悪い霊、惑わす霊と言います。聖書は、このサタンは偽りの父で、滅亡させる者だと確かに明らかにしています(ヨハネの福音書8:44、10:10)

人間自らは、サタンの権威に勝てないから、神様はサタンの権威を打ち砕くイエス・キリストをこの世に送って下さいました。霊的問題の根本の根を解決して下さいました。イエス・キリストは、神様に会う道になって下さいました(ヨハネの福音書14:6)。すべての罪と呪い、生年月日による運勢や運命から解放される道になりました(ローマ人への手紙8:2)。サタン(悪魔)のしわざを滅ぼして、その手に捕まって奴隷の役をしている者を解放する道になりました(ヨハネの手紙第一3:8、ヘブル人への手紙2:14-15)。イエス・キリストを信じて受け入れる時、はじめて運命が変わって、すべての苦しみとサタンの手から解放され、神様の子どもになり、霊的問題に勝つようになります。このときにはじめて、人間の繰り返す悪行の問題は解決されるのです。

「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」(ローマ人への手紙8:1-2)

「世界を動かす組織」

世界を動かす目に見えない手 NGO 1945年人類史上最悪の悲劇を抱かせた2次世界大戦が幕を下ろし、アメリカとソ連の冷戦が退場して、国際社会で最も目につく変化を選べと言われるなら、非政府機構(NGO:Non-Government Organization)の活動が飛躍的に増えたという点です。冷戦時代に、政府や国際機構が主導していた国際舞台の主演を、彼らが取って代るようになったのです。現在、NGOの活動範囲は、ほとんどあらゆる分野を網羅しており、今は政府政策が彼らの影響力によって左右されるほど、無視できないレベルに達しています。政府の影響や、支援を受けないながらも、あらゆる分野、政治、経済、交通、環境、医療事業など数百万個のNGOが、環境、人権、貧困追放、腐敗防止、世界文化遺産保護、麻薬退治、生態系保存などの活動をしています。世界的なNGOでは、50ヶ国あまりに支部をおいて110万人の定期寄付者を確保している政治犯救援国際委員会(AI)、6000人の関連職種会員をおいて80ヶ国あまりで活動している国境のない医師会、160ヶ国400万人あまりの会員をおいて活動しているグリーンピースが上げられます。

世界福音化のための組織と重職者 私たちの重職者は、今、伝道企画を進行しながら、実際の組織を組んでいっています。教会内部的には5人1組というチームを通して教会信徒のアイデンティティーを分かるようにさせ、機関と教会学校のキャンプ方向を提示しながら、教会の中の専門家と交わることができるように疎通させる作業をしています。全体の土台を置くために、ローマ16章の働き人のように、専門職についている人々を長老として立て、地教会ができた時、実際の長老を立てるようにして、今はもう少し重要な地域、専門性があるパートに指導者が出てきたり、一つの国に重要な人が出てきたりすれば、はやく訓練をさせて長老として立てなければなりません。これを通して互いに呼吸を合わせていくようにするべきです。このことのために持続的に行事や仕事を活用して、専門性があるキャンプを進行していき、わざわざ黄金漁場を探して巡回するキャンプを進行し、各地域を生かせるように教役者が入って定着キャンプを進行するのです。そして、持続する地教会と長老を立たせておいて、また他の地域に入っていくのです。これを一番よくした人がパウロとそのチームです。今は、長老は未来の世界福音化を見通しながら、福祉の資格もそろえて、世界的にNGOにも参加しながら、実質的な献身をしなければならいでしょう。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの中の五つの確信

- 1 救いの確信:** イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16, Iヨハネ 5:10-13)
- 2 祈り答えの確信:** 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信:** 神様は聖霊であなただけの中におられ、あなたを導くすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27, 箴言 3:5-6)
- 4 赦しの確信:** あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(Iヨハネ 1:9, ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信:** 救われたあなたは、世の中に勝つたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31-37, Iヨハネ 5:4)

神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

正しい開始が 正しい結果をもたらします

すべてのことには開始と終わりがあります。正しい出発だけが正しい結果に到達するということを銘記しなければなりません。ゲーテは「最初のボタンを掛け間違えれば、最後のボタンは締める穴がなくなる」と言いました。正しい信仰観の最終目的地はどこでしょうか。「福音」です。正しい神学の終点は「伝道」です。正しい判断の鍵は、過去、現在、未来の時刻表を正しく見ることです。そのために最も重要な開始は何でしょうか。

正しい福音理解 自分に対して嘘をつかないならば、福音をたやすく悟ることができます。本当に私をよく見てみれば一つのことは悟るようになります。恥ずかしいことが多いという事実、自分自身が何でもない罪人であるということを知るようになります。それでこそ「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。(ローマ 5:8)」という神様のみことばが少しずつ示されるようになります。福音を知らなければ真の人生も、真の教会も、真の文化改革も開始することができません。福音は人間の根本を解決することです。サタンの権威を破って、人間の身分と運命を変えて、人間がどうして理解することも、解決することもできない霊的問題を解決して、神様の子どもになるようにするのが福音です。その福音の主人公が、まさにイエス・キリストです。

正しい救い理解 エペソ1章3-5節とローマ16章25節を見れば、世界の基が置かれる前にすでに神様が絶対主権的な恵みを持って私を呼ばれたのが救いだと言われています。私が先に教会を訪ねて行ったように見えるのですが、神様が私たちを先にご存知で呼ばれたのです(ヨハネ15:16)。神様の絶対主権の中にある救いなので、だれも神様の子どもを奪っていくことができず、滅ぼすことはできません。

それなら、救われた者の祝福はものすごいのです。

正しい祈り理解 救われた者に神様はわたしの名で何でも祈れば答えると約束してくださいました(ヨハネ14:14、ヨハネ16:24)。それで、祈りは先に神様が私とともにおられる祝福(詩23:1)を味わうことです。そして、福音の内容とその中でくださった神様の子ども祝福を味わいながら、神の国、伝道を味わうのが祈りです。この時、生活の現場に行ってみれば、答えがあらかじめ来ていることを見るようになります。

正しい伝道理解 伝道とは神様の絶対主権的なおもな働きで、神様の創造と予定、摂理、経綸、考えの中で成されるのが伝道です。伝道の中に神様のすべてのものがみな入っているのです。私たちが世界を生かす伝道者であることが間違いないならば、神様は主の御使いを送って、聖霊で働いて導かれるようになっていきます。これが伝道の方法です。

これから神様の子どもは、救いの力、五旬節の聖霊の力、行く所ごとに天の御使いを送って働かれる収穫祭の天国の背景の祝福を毎日体験すれば良いのです。福音の中にある皆さんは、永遠な証拠を持った人で、永遠な証人で、永遠な勝利を知っている人です。福音の他には真理はありません。伝道の他には緊急なことはありません。宣教の他には世界を正しく見ることはできません。弟子確立の他には重要なことはありません。次世代(レムナント)と RUTC(レムナント共同体訓練場)の他には文化を生かすことはできません。皆さんはこの祝福を受けた伝道者です。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

26日(月)偶像を造ってはならない(出20:4-6)
神様の願いは、すべての偶像文化を終わらせて、いのちの道であるキリストの唯一性をすべての国に宣言することです。霊的問題を越えて、自分を生かし、他の人を生かす道は、福音しかありません。それで、私たちは不信仰から下ろして福音の力を体験しなければなりません。

27日(火)すべてのことを働かせて益としてくださる神様(ローマ8:26-30)

福音の中にいれば、すべてのことを働かせて益とされるようになります。聖霊とともにおられ、私たちの弱さを助けてくださり、導かれ、聖霊に満たされる力で働かれます。私たちの個人問題を通して、神様は善い計画を成し遂げていかれます。

28日(水)実際の祈りの奥義の体験(創39:1-6)

問題がくれば最後まで握って祈らなければなりません。そうすれば、神様がくださる答えと福音の力を知るようになります。イエスがキリストで、キリストが私の人生のキリストとして告白でき、キリストが私の主人になるとき、暗やみ勢力は必ず砕かれるようになります。

29日(木)みことばの体験(イザヤ40:6-8)

神様は過去、現在、未来、永遠という絶対主権の時刻表の中で恵みで私たちを呼んでくださいました。それで、神様は私たちに信仰と決断を要求されます。みことばを握って祈るとき、答えは必ずくるようになっていて、みことばは必ず成就します。

30日(金)弟子運動の体験(マタイ28:16-20)

神様の最も大きい願いは福音のなかで、祈りの奥義を持った弟子が起きることです。キリストの奥義と、ともに行く力を持って地域と国と福音運動の責任を負うべき指導者と次世代(レムナント)を立てることを知っている人が弟子運動の主役です。

31日(土)わが息子よ!娘よ!(テモテ2:1)

私たちの次世代(レムナント)は、必ず一つの分野で最高の専門性を持った人、一つの地域の責任を負う人、一つの国を責任を負う人として未来を準備すべきです。どんな場合も気をおとさずに、キリストを胸に入れて、どこでも神様の前で一人だけの時間を持って、一人で生き残ることができなければなりません。

週間メッセージ

産業宣教: 失った救いの祝福を探して(使徒1:1-8)

伝道学: 救いと祈り(ヨハネ14:14)

核心訓練: 伝道に対する正しい理解(使徒8:26-40)

聖日1部: 三つの祭りを永遠に記念しなさい(出23:14-17)

聖日2部: 神様に喜ばれる完全なみこころ(ローマ12:1-3)

あなたは いくらですか

人は物でもないので、あえて値段を尋ねることは、非常に失礼な質問だ。しかし、わずか一世紀前にも人間が奴隷制度を通して人のからだに値段をつけて売り買いした歴史がある。聖書を見れば、ヤコブの息子ヨセフが兄たちによってエジプトに奴隷で売られて行く時、銀 20 枚を受けたと言われているが、それがその当時の安い奴隷の値段だった。ローマ時代に、イエスを売ったイスカリオテのユダは、銀 30 枚を受けたので、ほとんど 1 千 8 百年後に銀 10 枚ほどのインフレが進行されたのだ。

人々の人生で、普通 3 度、多量の金がかかるという。生まれる時と結婚する時と死ぬ時だ。その時期は、みな人生で重要な時間だと言える。しかし、時々こういう時間と別に多量のお金がある時があるのだが、からだが病気になる時だ。からだのある部位、器官一つでも、人体を構成する条件の下で重要でないところはないので、一部分だけ故障が起きて、良くなって苦しいならば、私たちは何か値段を払っても回復して健康を維持しようとする。

美人になりたい人が顔を整形するのに 3 百万円もかかるといううわさを私たちはあまり深く考えずに聞くが、からだの臓器一つの価値を考えれば、それも高いことではないと感じる。

それなら、はたして私の価格はどれくらいになるのだろうか。人は肉体とたましいで構成されている。肉体の価値だけでも値段を計算しにくい、目に見えないたましいの価値は、またどれくらい大きいのだろうか。もちろん、自分の価値の評価を下げて、自らを死に追いやる愚かな人や、自分を統制できないほど、暗やみに覆われた人もいるが、健康で常識を持った人ならば、自分の価値がどれくらい重要なのかを分かるだろう。

急な事故に出会って死に至る時、私たちはその結果に注目する。値段で計算できないいのちが惜しいが、値段で慰めることをするためだ。はたして、私たちは真にそのような程度の価値の以外はないということなのだろうか。短い人生を、それもほとんど苦痛と絶望の中で生きなければならない私たちの値段を正しくみなされる方がおられるが、その方が神様だ。私に罪を犯した人を許すことは、簡単ではないが、神様はご自身を離れて罪に陥ってサタンの奴隷になった人間のために、ご自分の息子を人間の世の中に送って、十字架で血を流して死ぬようにまでされた。

なぜそのようにされたのだろうか。人間の存在を人間が見る価値より重要に思われるためだ。たとえ土で造られたとしても、人間は宇宙より価値があって、天下より尊いということが神様の考えだ。その祝福された神様の愛があらわれたので、その愛を先に悟った私たちは、その事実を聞こうが、聞かまいが、少し不快な場合でも、率直な心をもって伝えるのだ。

あなたは大切な人であり、世の中を創造された神様が、他の見方をすれば神様自身よりあなたをさらに愛されているのだ。神様の愛は、与えられたいのちがいのちとして存在する時だけ受け入れることが有効だ。だれにでも認められたいのが、この頃の世の中であるが、神様は認めることに留まるのではなく、宇宙最高の価値を人間に与えてくださった。祝福へ行く救いがあるにあなたに希望になる理由も、それゆえなのである。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)



イラスト_ユン・スルギ